

ダイバーシティインクルージョン推進事業計画並びに収支予算(案)承認の件

審議

- ファイル名 : 302-01-S
- 事業名 : ダイバーシティインクルージョン推進事業
- 職務分掌 : 302-01
- グループ名 : 革新グループ
- 担当副理事長・専務理事 : 浅野 龍昇
- 担当常任理事 : 星山 剛
- 議案上程日 : 2023年1月2日
- : 委員会・局 : 地域子育て連携委員会
- : 委員長・局長名 : 田所 伸吾
- : 文書作成者役職・氏名 : 副委員長 竹原 沙織
- : 確認日 : 2023年1月2日

事業要項(企画)

1. 目指す社会・組織の姿	子育て支援に取り組む地域や企業、団体と連携し、ダイバーシティインクルージョンを実現することで、子どもを生き育てやすい宮崎の実現を目指します。																																															
2. 実施に至る背景	多様な人材を受け入れ、その能力を發揮させることが求められる社会の中で、令和3年度県民意識調査によると、子育てに関して不安や負担を感じると回答した割合が30.3%、社会全体で男性の方が優遇されていると回答した割合が55.5%となっております。また、子供の貧困についても、宮崎県では7人に1人が相対的貧困の状態にあるとされています。その原因は、地域コミュニティ内における子育ての連携ができていないこと、及び男性の育児参画が進んでいないことだと考えます。ダイバーシティインクルージョンを実現することで、子供を生き育てやすい宮崎にしていく必要があります。																																															
3. 目的	地域と企業や団体が子育てに関して連携できる仕組みを作ることにより、地域ぐるみで子育てを行えるような環境に変えることを目的とします。																																															
4. 連携する外部／内部パートナー種別	宮崎県、宮崎市(子育て支援課)、公益社団法人日本青年会議所、公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会、公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会、株式会社宮崎放送、株式会社テレビ宮崎、特定非営利活動法人みやざき男女共同参画推進機構、フードバンクみやざき、みやざき子ども未来ネットワーク、みやざきSDGsプラットフォーム、みやざき女性の活躍推進会議、みやざき子ども文化センター、ガクセイ塾																																															
5. NEXT5	1.	誰も取り残されない地域の実現																																														
	1-2	相対的貧困の改善																																														
	1-3	多様性を尊重した教育の推進																																														
	1-6	ニューノーマルへの適応																																														
	2.	労働生産性を向上させる地域の実現																																														
	2-8	企業・学校・団体との連携																																														
	3.	持続可能で安全な地域の実現																																														
	3-8	環境経営の確立																																														
6. 実施日と実施前後のスケジュール	<p>■実施日 2023年1月～12月</p> <p>《参考資料》 事業ロードマップ</p> <p>■実施前後のスケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>いつ</th> <th>どこで</th> <th colspan="3">なにを</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>①相対的貧困</th> <th>②ベビーファースト</th> <th>③育LOM</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年10月</td> <td>各所</td> <td colspan="3">自治体、他団体等からのヒアリング 他団体向け説明資料 宮崎市子育て支援課との打合せ(10月5日)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>各所</td> <td colspan="3">自治体、他団体等からのヒアリング ガクセイ塾との打合せ(11月8日) フードバンクみやざきとの打合せ(11月24日) 連携する子育て支援団体の決定、事業構築</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>各所</td> <td></td> <td></td> <td>・育LOM調査アンケート実施</td> </tr> <tr> <td>2023年1月</td> <td>各所</td> <td>・職場体験事業出展企業募集</td> <td>・ベビーファースト宣言企業の募集 ・LP、ポスター作成</td> <td>・育LOM調査アンケート結果集計 ・例会ベビーシッター</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>各所</td> <td>・職場体験事業出展企業募集 ・物販体験ブース参加者募集</td> <td>・ベビーファースト宣言企業の募集 ・メインアワーパネルディスカッション、セミナー打合せ</td> <td>・例会ベビーシッター</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>各所</td> <td>・職場体験事業準備 ・物販体験ブース参加者募集</td> <td>・ベビーファースト宣言企業の募集 ・メインアワーパネルディスカッション、セミナー打合せ</td> <td>・例会ベビーシッター</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>各所</td> <td>・職場体験事業準備 ・物販体験ブース参加者会議①</td> <td>・4月例会メインアワー「ベビーファースト運動推進事業」実施</td> <td>・例会ベビーシッター</td> </tr> </tbody> </table>			いつ	どこで	なにを					①相対的貧困	②ベビーファースト	③育LOM	2022年10月	各所	自治体、他団体等からのヒアリング 他団体向け説明資料 宮崎市子育て支援課との打合せ(10月5日)			11月	各所	自治体、他団体等からのヒアリング ガクセイ塾との打合せ(11月8日) フードバンクみやざきとの打合せ(11月24日) 連携する子育て支援団体の決定、事業構築			12月	各所			・育LOM調査アンケート実施	2023年1月	各所	・職場体験事業出展企業募集	・ベビーファースト宣言企業の募集 ・LP、ポスター作成	・育LOM調査アンケート結果集計 ・例会ベビーシッター	2月	各所	・職場体験事業出展企業募集 ・物販体験ブース参加者募集	・ベビーファースト宣言企業の募集 ・メインアワーパネルディスカッション、セミナー打合せ	・例会ベビーシッター	3月	各所	・職場体験事業準備 ・物販体験ブース参加者募集	・ベビーファースト宣言企業の募集 ・メインアワーパネルディスカッション、セミナー打合せ	・例会ベビーシッター	4月	各所	・職場体験事業準備 ・物販体験ブース参加者会議①	・4月例会メインアワー「ベビーファースト運動推進事業」実施	・例会ベビーシッター
いつ	どこで	なにを																																														
		①相対的貧困	②ベビーファースト	③育LOM																																												
2022年10月	各所	自治体、他団体等からのヒアリング 他団体向け説明資料 宮崎市子育て支援課との打合せ(10月5日)																																														
11月	各所	自治体、他団体等からのヒアリング ガクセイ塾との打合せ(11月8日) フードバンクみやざきとの打合せ(11月24日) 連携する子育て支援団体の決定、事業構築																																														
12月	各所			・育LOM調査アンケート実施																																												
2023年1月	各所	・職場体験事業出展企業募集	・ベビーファースト宣言企業の募集 ・LP、ポスター作成	・育LOM調査アンケート結果集計 ・例会ベビーシッター																																												
2月	各所	・職場体験事業出展企業募集 ・物販体験ブース参加者募集	・ベビーファースト宣言企業の募集 ・メインアワーパネルディスカッション、セミナー打合せ	・例会ベビーシッター																																												
3月	各所	・職場体験事業準備 ・物販体験ブース参加者募集	・ベビーファースト宣言企業の募集 ・メインアワーパネルディスカッション、セミナー打合せ	・例会ベビーシッター																																												
4月	各所	・職場体験事業準備 ・物販体験ブース参加者会議①	・4月例会メインアワー「ベビーファースト運動推進事業」実施	・例会ベビーシッター																																												

5月	各所 会場未定	・国際フェスティバルと連携(フードドライブブース設置、職場体験事業開催) ・物販体験ブース参加者会議②	・ベビーファースト宣言企業の募集	・例会ベビーシッター
6月	宮崎市内	・物販体験ブース参加者会議③	・ベビーファースト宣言企業の募集	・例会ベビーシッター
7月	宮崎市内	・まつりえれこっちゃんみやざき2023と連携(子どもたちによる物販体験ブース出店)	・ベビーファースト宣言企業の募集	・例会ベビーシッター
8月	各所	・事業検証	・ベビーファースト宣言企業の募集	・例会ベビーシッター
9月	各所	・事業検証	・9月例会メインアワー内で事業報告	・例会ベビーシッター
10月	各所	・事業報告	・事業検証	・例会ベビーシッター
11月	各所		・事業報告	・例会ベビーシッター ・育LOM推進アンケート実施
12月	各所			・例会ベビーシッター ・育LOM推進アンケート結果報告

7. 実施場所

宮崎市内各所

8. 事業内容

(目的達成のための手法)

■事業概要

対内、対外を含め地域と企業や団体が子育てに関して連携できる仕組みを作り、ダイバーシティインクルージョンの実現を目指す事業です。

《参考資料》 [令和3年度県民意識調査](#)

《参考資料》 [ダイバーシティインクルージョンとは](#)

■基本方針

下記3つのテーマを柱として子育て連携の仕組みを構築します。

- ①子どもの相対的貧困問題対策
- ②ベビーファースト運動推進
- ③育LOMの推進

■具体的手法

1. 相対的貧困問題対策事業

相対的貧困問題対策の2つの大きな柱である(1)食事支援、(2)学習・体験支援に取り組みます。

(1) 食事支援

フードバンクみやざきと連携し、食事支援運動への協力を行います。

i 実施事業

▼フードドライブブース設置(国際フェスティバル(5月))

5月開催予定の国際フェスティバルにて、フードドライブブースを設置します。

ii 連携団体

2022年に連携したフードバンクみやざきと連携します。

《参考資料》 [フードバンクみやざきとの打合せ\(11月24日\)](#)

(2) 学習・体験支援

相対的貧困の状況にある子どもたちの学びの支援を行っている団体と連携し、多種多様な業種等を有する宮崎青年会議所の人材を活用しながら、子どもたちに対し多様な学びの機会を提供します。

i 実施事業

▼職業体験事業(国際フェスティバル(5月))

5月開催予定の国際フェスティバルにて、職業体験事業を開催します。

職業体験施設キッザニアでの体験のように、LOM内より様々な業種の企業を10社ほど募り、来場した子どもたちに興味のある職業を体験してもらいます。職業を体験した子どもには報酬(実際の現金ではなく、模擬金券)を渡し、その報酬で買い物ができるようにします(ポップコーンやわたあめ、射的などの縁日や記念品(協賛物品)を予定)。

《参考資料》 [キッザニアのお仕事体験](#)

▼子どもたちによる物販体験ブース出店(まつりえれこっちゃんみやざき2023(7月))

7月開催予定のまつりえれこっちゃんみやざき2023にて、子どもたちによる物販体験ブースを出店します。

参加希望の子どもたちを20名程度募集し、3班に分け、予算を1班あたり5万円与えて、物販事業を体験してもらいます。

効果的な体験となるよう、3回の事前会議(4月22日(土)、5月20日(土)、6月24日(土))を行い、物販事業構築の基礎をレクチャーしながら準備を進めてもらいます。

なお、まつりえれこっちゃん当日において、まつりえれこっちゃん側の都合により子どもたちによる金銭授受が不可能な場合には、出店企業の中から協力企業を3社募り、当日の金銭授受は協力企業に行ってもらう形として、子どもたちの参加の余地を最大限確保します。

ii 連携団体

参加希望者については、相対的貧困の状況にある子どもたちを集めるため、学習・体験支援団体「ガクセイ塾」と連携して募集を行います。「ガクセイ塾」は、相対的貧困の状況にある子どもたちに学習支援を行う団体です。宮崎市の大学生が運営しており、令和4年度宮崎市子どもの貧困対策活動支援事業において、相対的貧困の状況にある子どもたちへの授業(様々な職業の専門家による授業)を行う事業で補助金を獲得しています。

《参考資料》 [ガクセイ塾とは](#)
 《参考資料》 [R4宮崎市子どもの貧困対策活動支援事業補助金 交付団体一覧](#)
 《参考資料》 [ガクセイ塾との打合せ\(11月8日\)](#)

2. ベビーファースト運動推進事業

2022年に宮崎県も参画したベビーファースト運動を推進するため、運動に参画する企業・団体の増加を目指します。

《参考資料》 [ベビーファーストウェブサイト](#)
 《参考資料》 [ベビーファーストポスター](#)

(1) 拡大方法

i 宮崎県雇用労働政策課との連携

宮崎県雇用労働政策課では、2006年より「仕事と生活の両立応援宣言」運動を行っており、2022年10月登録分までで1445件の県内企業が自社の取組みの宣言を行っております。ベビーファースト運動の推進と共通する部分があるため、ベビーファースト宣言企業の募集に当たっては、同課と連携して取り組みます。

《参考資料》 [仕事と生活の両立応援宣言](#)

ii 宮崎青年会議所独自LP、ポスターの作成

日本青年会議所のベビーファースト運動担当委員会に問い合わせたところ、日本青年会議所作成のベビーファーストサイトに宮崎独自のページを作成することは難しいとのことでした。したがって、本事業推進におけるポスターやLP(ランディングページ)については、宮崎青年会議所において作成します。ベビーファースト宣言を行った企業には、自社が宣言を行っていることを掲出できるポスターを進呈します。また、LPを作成し、参画企業を随時掲載します。ポスター、LPについてはTNAソリューションデザイン株式会社に作成を依頼します。

《参考資料》 [日本青年会議所ベビーファースト委員会からのヒアリング内容](#)

《審議対象資料》 [LPデザイン](#)
 《審議対象資料》 [ポスターデザイン](#)

iii SNS広告

SNS広告によりベビーファースト運動及びLPの宣伝を行い、宣言企業の募集を行います。

●配信スケジュール

日程	内容
～1月31日	LP作成(LOM内の宣言企業は公開前に随時追加)
2月1日	LP公開
2月10日～2月20日	SNS広告 一般団体・企業より宣言企業募集
3月1日～4月10日	SNS広告 4月例会告知
4月20日～	SNS広告 一般団体・企業より宣言企業募集

(2) 4月例会メインアワー(進捗状況報告)

推進事業の進捗状況は、4月例会メインアワーで報告します。4月例会メインアワーでは、①推進事業の進捗状況報告、②宮崎におけるベビーファーストを推進するための課題に関するパネルディスカッション、③ベビーファースト運動を啓発することのできる講師によるセミナーを行います。テレビや新聞等で広く取り上げていただくことで、ベビーファースト運動のさらなる拡大を図ります。

講師案: NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏

《参考資料》 [安藤哲也氏プロフィール](#)

(3) 9月例会メインアワー(成果発表)

4月例会メインアワー後も、ベビーファースト宣言企業の募集は継続します。最終的に、9月例会メインアワー(青少年育成委員会と連携)内で一部時間を頂き、推進事業の成果発表を行います。

3. 育LOM推進事業

宮崎青年会議所における育LOM推進に取り組みます。

《参考資料》 [育LOMガイドブック](#)

(1) 育LOM推進の指針

宮崎青年会議所も育LOM認定を受けておりますが、具体的な取組みについてはまだまだであり、行動化及び定着化を図る必要があります。日本青年会議所において、育LOM推進状況の見える化

のため、「組織改革チェックシート」を作成予定であるため、宮崎青年会議所においても同シートを用いて推進に取り組みます。

《参考資料》 [組織改革チェックシート](#)

(2) 具体的取組内容

具体的取組としては、「育LOM 5つの取組み」に従い、下記内容とします。

① Family Day

…事務局及び総務委員会と連携し、全体スケジュールを把握した上でFamily day(全メンバーが活動を自粛し、家族に感謝を表すための日)を設け、LOMメンバーに周知します。

② スマート会議

…常任理事会、理事会、委員会等の各種会議について、WEBでの出席が認められるWEB会議の導入に向けた検討を行います。また、ITイノベーション委員会と連携し、技術面においてもスマート会議の実現に向けた支援を行います。

③ 子連れJayceeへの斟酌

…例会への託児制度、子連れ参加制度の導入を行います。託児制度は、NPO法人みやざき子ども文化センターの保育士派遣制度を利用します。

《審議対象資料》 [保育士派遣申請書](#)

《参考資料》 [保育委託規程\(NPO法人みやざき子ども文化センター\)](#)

《参考資料》 [保育委託料変更のお知らせ\(NPO法人みやざき子ども文化センター\)](#)

《参考資料》 [保険掛け金及び補償内容一覧\(NPO法人みやざき子ども文化センター\)](#)

《参考資料》 [保険重要事項説明書\(NPO法人みやざき子ども文化センター\)](#)

《参考資料》 [保育委託申込書\(NPO法人みやざき子ども文化センター\)](#)

④ JCに対する家族と会社の理解を促進する事業や取組みの創出

…11月例会メインアワー「家族晚餐会」担当の財政規則審査会議と連携し、家族に感謝を表すための日を設けます。

⑤ 誰でも産前産後育児休業制度の導入

…当LOMの過去の事例や導入済みの他LOMの事例研究を行う等して、当LOMにおけるルール整備を検討します。

(3) 全体会議の設置

具体的取組中、②スマート会議 及び ⑤誰でも産前産後育児休業制度の導入 については、青年会議所の制度変更を伴い、また予算にもかかわる可能性があるため、可能な限り青年会議所のメンバー全員からの意見聴取及び討論を行う必要があります。そのため、必要に応じ、導入の可否及び方法を議論するための全体会議を設けます。なお、制度導入に伴い定款をはじめとした各種規約の改正を必要とする可能性があるため、規約改正が必要な場合には、2023年度臨時総会(8月例会(8月18日(金)予定))で決議を成立させます。

i 全体会議の構成

役割	役職	氏名
議長	副理事長	浅野 龍昇 君
会議運営	常任理事	星山 剛 君
会議設営		地域子育て連携委員会

ii 全体会議の実施予定

① 3月

現状調査アンケート及び他LOMにおける実施例等の調査結果を基に、導入の可否及び方法を議論します。

② 5月

3月の議論の結果、当LOMにおいても導入を行うとなった場合、8月の臨時総会における規約改正に向けての議論を行います。

(4) 検証方法

推進事業の前後で、「組織改革チェックシート」を基にした「組織改革・現状調査アンケート」「組織改革・検証アンケート」を作成し、ビフォーアフターを検証します。「組織改革・現状調査アンケート」については2022年12月に対内にて実施し、「組織改革・検証アンケート」については2023年11月に対内にて実施します。「組織改革・検証アンケート」の調査結果は、2023年12月に報告します。

《参考資料》 [【役員向け】組織改革・現状調査アンケート](#)

《参考資料》 [【メンバー向け】組織改革・現状調査アンケート](#)

《審議対象資料》 [【役員向け】組織改革・検証アンケート](#)

《審議対象資料》 [【メンバー向け】組織改革・検証アンケート](#)

■実施組織体系

役職	氏名	担当
委員長	田所 伸吾	事業総括、育LOM推進事業担当

	副委員長	高山 桂	ベビーファースト運動推進事業担当
	副委員長	竹原 沙織	相対的貧困問題対策事業担当
	運営幹事	上村 光太郎	事業総括補佐、育LOM推進事業担当補佐
	委員	岩見 彰憲	ベビーファースト運動推進事業担当補佐
	委員	落合 夏樹	相対的貧困問題対策事業担当補佐
	委員	落合 勇輝	ベビーファースト運動推進事業担当補佐
	委員	坂本 圭佑	ベビーファースト運動推進事業担当補佐
	委員	関谷 祐作	相対的貧困問題対策事業担当補佐
	委員	山口 俊樹	相対的貧困問題対策事業担当補佐
9. 成果目標	KPI	1) 事業に参加した子どもたちのうち、将来の夢や目標を持つことができたとのアンケート回答80%以上。 2) 連携先の団体より、連携によって自団体の課題を解決できたとの回答80%以上。 3) ベビーファーストを宣言した企業や団体の数100以上。 4) 組織改革の「現状調査アンケート」の平均点数から「検証アンケート」の平均点数が200%以上増加。	
10. 成果目標の検証方法	1) 各事業実施後にアンケートを実施。 2) 事業検証時にアンケートを実施。 3) ベビーファーストを宣言した企業や団体の数をカウントする。 4) 組織改革アンケートを対内向けに実施。		
11. 対象者及び参加員数	(対内) 宮崎青年会議所メンバー (対外) 宮崎市民(約40万人)、市内の企業・団体		
12. 広報戦略	01	広報審査シート	
13. 事前審議書類	01	なし	
14. ブラッシュアップ			

15.	予算総額	¥410,000-	事業計画収支予算書へ
16. 審議対象資料	17. 参考資料		
1)	事業計画収支予算書	1)	サマリー 年間事業フレーム
2)	LPデザイン	2)	前年度からの引継事項 (引用議案:301-01-F)
3)	ポスターデザイン	3)	事業ロードマップ
4)	(役員向け)組織改革・検証アンケート	4)	他団体向け説明資料
5)	(メンバー向け)組織改革・検証アンケート	5)	宮崎市子育て支援課との打合せ(10月5日)
6)	保育士派遣申請書	6)	ガクセイ塾との打合せ(11月8日)
		7)	フードバンクみやざきとの打合せ(11月24日)
		8)	令和3年度県民意識調査
		9)	ダイバーシティインクルージョンとは
		10)	キッズニアのお仕事体験
		11)	ガクセイ塾とは
		12)	R4宮崎市子どもの貧困対策活動支援事業補助金 交付団体一覧
		13)	ベビーファーストウェブサイト
		14)	ベビーファーストポスター
		15)	仕事と生活の両立応援宣言
		16)	日本青年会議所ベビーファースト委員会からのヒアリング内容
		17)	安藤哲也氏プロフィール
		18)	育LOMガイドブック
		19)	組織改革チェックシート
		20)	(役員向け)組織改革・現状調査アンケート
		21)	(メンバー向け)組織改革・現状調査アンケート
		22)	保育委託規程(NPO法人みやざき子ども文化センター)
		23)	保育委託料変更のお知らせ(NPO法人みやざき子ども文化センター)
		24)	保険掛け金及び補償内容一覧(NPO法人みやざき子ども文化センター)
		25)	保険重要事項説明書(NPO法人みやざき子ども文化センター)
		26)	保育委託申込書(NPO法人みやざき子ども文化センター)

前回までの流れ(意見と対応)

● 第03回予定者常任理事会

● 開催日 2022年 10月 11日 (火曜日) 報告

意見1: 子どもではなく、親に焦点をあてて事業を構築するのの一つの手法かもしれません。【親のリカレント教育で収入やリテラシーを向上させることで子どもの環境を整えるなど】

対応1: 子どもだけではなく、親も含めた事業内容を今後検討いたします。

意見2: 青少年育成委員会と連携できることは行っていきたいので打ち合わせ日を決めて打ち合わせしましょう。

対応2: 青少年育成委員会と連携できる部分は連携していきます。

意見3: 現在市役所との打合せ内容のみとなっております。どこをターゲットとするのかなど難しい点がありますが、悩んだ上でどうするのか検討していただきたいです。

対応3: 連携先の団体のヒアリングにより適宜設定し、ターゲットを設定していきます。

意見4: 青少年育成委員会と共有する内容などありますので、事業としてどのように進めるのか考えていただきたいです。

- 対応4: 青少年育成委員会と連携できる部分は連携していきます。
- 意見5: KPIの2)、「連携先の団体より、連携によって自団体の課題を解決できたとの回答80%以上」とありますが、「自団体の課題」とはどのようなものを想定していますか。
- 対応5: 連携先の団体のヒアリングにより適宜設定していくものとなります。現在連携先の選定を行っており、ヒアリング結果を基に設定いたします。
- 意見6: これは年間推進でなにを行うのでしょうか。事業内容が見えません。
- 対応6: 現地点では骨格をお示ししております。現在連携先の選定を行っており、より具体的な事業内容の構築を図っていきたくと考えております。
- 意見7: 2022年度の相対的貧困事業で使用したTikTokについては活用しますか。
- 対応7: 現在活用しない想定としておりましたが、活用を検討いたします。

● 第03回予定者理事会 ● 開催日 2022年 10月 20日 (木曜日) 報告

- 意見1: なし
対応1: なし

● 第04回予定者常任理事会 ● 開催日 2022年 10月 27日 (木曜日) 協議

- 意見1: 4月例会が現実的かを早急に確認してください。またキッザニアは職業体験に置き換える可能性があります。そちらも視野に入れて構築をお願いします。
- 対応1: 革新グループで協議し、当委員会が4月例会を担当することとしました。キッザニアの点は、青少年育成委員会と協議して構築いたします。

● 第04回予定者理事会 ● 開催日 2022年 11月 10日 (木曜日) 協議

- 意見1: 国フェスと連携しキッザニアを行うとのことですが、国フェスにも人員が必要なので人員が足りなくなるおそれがあります。担当委員会と十分連携するようにしてください。
- 対応1: 国際コネクト委員会と連携を取り、構築いたします。
- 意見2: キッザニアについては、2019年にも同様の事業を行ったことがあるので、参考にしてください。また、本家キッザニアのように、職業体験の結果報酬をもらい、その報酬で何かできるようにするという手法も面白いと思います。
- 対応2: 2019年の際の担当者に連絡して、議案を頂きました。報酬の点も含め、参考にして事業を構築いたします。

● 第05回予定者常任理事会 ● 開催日 2022年 11月 24日 (木曜日) 協議

- 意見1: 202-01-K2、2023年度国際共生推進事業計画並びに収支予算(案)の件で「ダイバーシティ&インクルージョン」について&を使うのかという記載があります。LOMとしての統一語句になるかと思っておりますので、こちらに記載するのが適切かはわかりませんが、「ダイバーシティインクルージョン」という語句を使用する委員会は統一化を図るようにしてください。
- 対応1: 委員長所信記載のとおり、「&」を用いない形式が理事長の想いとされており、当委員会としては、「&」を用いない形式で使用したいと考えています。
- 意見2: 議案通りに実行すれば、ワールドテラス内で地域子育て委員会はフードドライブをミニキッザニアを同時開催することになります。国際コネクト委員会との連携も図りながら、委員会での実施組織体系、各委員会の役割分担を構築するようにしてください。
- 対応2: 実施組織体系及び役割分担については国際コネクト委員会と十分協議して構築いたします。
- 意見3: えれこっちゃんお店についてです。企画段階だと思っておりますのでこれからだと思っておりますが、もし子供たちのお店で食べ物を扱う場合は夏なので食中毒に気を付ける物にした方がいいかと思っております。
- 対応3: 物販については食中毒リスクを考慮します。
- 意見4: 予算計上のあり方を決めましょう。例→国フェス関連は国フェスの子議案で予算計上、例会なので保育士派遣費用は総務費など
- 対応4: 次回理事会までに関係各所と協議させていただければと思います。
- 意見5: SNS広告費は30万ありますが、これも国フェスと重なるのでルールを決めましょう。
- 対応5: 次回理事会までに関係各所と協議させていただければと思います。
- 意見6: まつりえれこっちゃんみやぎき内での物販体験ブースお店について、「予算を1班あたり5万円与えて」とありますが、これは現金を渡すということでしょうか。
- 対応6: 予算の与え方についてはまだ具体化できておりませんが、予算の使い道を子どもたちに考えさせて購入は会議所側が行うか、子どもたちに購入までさせる場合についても会議所側の人間と一緒に購入するという形がリスク管理的にも好ましいと考えております。
- 意見7: 例会ベビーシッターについて、その時々には因るとは思いますが、例会会場内か、別会場を用意するのか、託児ブースはどこに設けますか。
- 対応7: 利便性を鑑みて、可能な限り例会会場内(の別部屋)に設けたいと考えております。
- 意見8: SNS費用が予算にありますが、具体的にどの媒体を使ってどういう風な広告をするかの案は決まっていますでしょうか。
- 対応8: 広報審査シートに記載しております。
- 意見9: ミニキッザニアという名称は広報する際に問題ないですか。
- 対応9: そのまま用いると問題がありますので、仮称としております。正式な企画名は検討中です。
- 意見10: えれこっちゃん物販ブースの物販は何を想定されていますか。
- 対応10: 子どもたちに決定させたいと考えております。もっとも、一から考えさせるのは時間的にも厳しいかと思っておりますので、いくつか案を示す予定です。案の内容は検討中ですが、子どもたちでも作りやすく、かつある程度売れ行きが見込めるもの(簡単なスイーツやアクセサリ等)がよいと考えております。

● 第04回予定者財政規則審査会議 ● 開催日 2022年 12月 1日 (木曜日) 審査

- 意見1: 「4.連携する外部パートナー」として、宮崎ブロック協議会は不要でしょうか。
- 対応1: 宮崎ブロック協議会を加えました。
- 意見2: 「8.事業内容」の「食事支援」、「学習・体験支援」の数字のフォントを修正してください。
- 対応2: 記号が用いられていた箇所がありましたので、半角英数字に統一しました。
- 意見3: 「8.事業内容」の「(ポップコーンやわたあめ～を予定)」は、見やすいように文章の末尾に持ってきてください。
- 対応3: 文章の末尾に移動しました。
- 意見4: 「8.事業内容」の「JCI日本」は「日本青年会議所」に、「JCI宮崎」は「宮崎青年会議所」に統一してください。
- 対応4: 統一しました。
- 意見5: 予算書について、LP・ポスター制作費用については相見積書の添付をお願いします。また、SNS広告費用の見積書の添付をお願いします。
- 対応5: いずれも取得依頼中であり、取得でき次第添付します。

● 第05回予定者理事会 ● 開催日 2022年 12月 8日 (木曜日) 協議

- 意見1: 現在、宮崎青年会議所も育LOM宣言をしておりますが、実状的になかなか浸透していないと思います。そこで、国際フェスティバルやまつりえれこっちゃんみやざきなど、日中の事業に関して育LOM推奨の事業として活動を進めていくと良いと思います。また、村社委員長の事業であります、メタバース等でも小学生以上の参加を募集していくと良いのではないのでしょうか。
- 対応1: 各事業と連携し、育LOMの推進をしてまいります。
- 意見2: 育LOMについて、いち委員会だけでは実現できないため、LOM全体で取り組めるように、ルール整備のロードマップ、年間スケジュールを設けてほしい。
- 対応2: ロードマップを作成しました。
- 意見3: 今年の家族晚餐会には家族を連れてくるか迷う面もありましたが、結果的に素晴らしい事業であり、連れてくればよかったと思えました。来年もぜひ家族参加可能な事業を行ってほしいと思います。
- 対応3: 各事業と連携して、家族参加の推奨を行ってまいります。
- 意見4: 育LOMのみならず、推進事業全体のロードマップを作成してほしいです。
- 対応4: 作成しました。
- 意見5: ベビーファースト参画企業100社の達成方法について、今のところLPだけなので、深堀してほしい。
- 対応5: 既に約1500件の県内企業のリストを保有している宮崎県雇用労働政策課と連携し、ベビーファースト参画企業募集の案内を行います。
- 意見6: スマート会議をぜひ実施してほしいです。
- 対応6: 実現に向けて行動してまいります。
- 意見7: 「キッズニア」の名称が使用できないと思われるため、仮称ではなく、議案の段階から名称変更をしてください。
- 対応7: 「職業体験事業」に変更します。
- 意見8: えれこっちゃんでの物販体験事業について、昨年えれこっちゃんで行われていた「子商いマルシェ」というイベントでは、子どもたちによる金銭の授受ができなかったという話を聞いています。現状の計画が実行可能かどうか、早急に確認をお願いします。
- 対応8: 早急に確認を行います。議案上では、金銭授受ができない場合に備えての代案を記載しております。

● 第01回常任理事会 ● 開催日 2022年 12月 19日 (月曜日) 協議

- 意見1: えれこっちゃんみやざきでの物販体験ブース出店に参画する子供たちの募集はガクセイ塾と連携してとありますが、具体的な募集、選考方法が知りたいです。
- 対応1: もともとガクセイ塾が対象の子どもたちとつながっているため、その子どもたちに声をかけてもらいます。ネット等で大々的に募集を行うことは想定していません。選考を行わなければならないほど応募者多数になることはないと思われませんが、原則先着順とします。
- 意見2: ベビーファーストについては、新たに独自のLPを立ち上げ乱立させるよりも、本会の委員会も「今後、地域別に分けて誰もが参画しやすいよう分かりやすいホームページにできるよう引き継いでいこうと思います。」とあるように本会運営のWEBサイトに参加企業を追加した方がいいのではないのでしょうか。
- 対応2: 議案記載のように、現段階では地域別の掲載予定はないとのこと。来年以降に本会の委員会がそのような運営方法になった場合にはその手法も検討に値しますが、現段階ではその方法はとれません。
- 意見3: 保育士派遣制度は個人単位で申込をさせる計画ですか？LOMとして計画するのであれば予算計上したいので、事前にメンバーへヒアリングしてもいいのではないのでしょうか。
- 対応3: LOMへの申し込みは事業主体単位(委員会・局)で行い、LOMからNPO法人みやざき子ども文化センターへの申し込みはLOMが行います。また、予算規模を把握するためのヒアリングについては、現状調査アンケートに盛り込みます。
- 意見4: えれこっちゃんでの物販体験ブース出店について、協力企業3社を募り当日の金銭授受は企業が行うとありますが、この企業はえれこっちゃんが行う協賛ブース出店企業から募るといことでしょうか。
- 対応4: そのように考えております。
- 意見5: ベビーファーストの宮崎独自のLP、ポスターデザインについて、確認ですがJCI日本のベビーファースト委員会からロゴ等の使用許諾(使用する旨)はとられていますでしょうか。備忘録ではJCI宮崎のWEBページで作成してくださいとの記載はありますが、許諾を受けているかどうかの記載はなかったのです。
- 対応5: 改めて確認し、明示的な許諾を得ました。
- 意見6: この議案に関してのみではないですが、LPを作成することに対する費用対効果をもっと考える必要があるのではないかと感じましたがLPであることと理由があれば教えてください。参加企業から協賛を募ってLPを作成するなど事業費の適切な圧縮も必要になってくるのではないかと考えております。

- 対応6: ベビーファースト運動単独の周知を行うこと、参加企業を一覧性をもって広報可能なこと、参加企業にとって自社がベビーファースト運動に参加していることを広く簡便にアピールしやすい手段であること(自社HPでは手間と費用がかかり、ポスター等紙媒体では広くアピールできない)から、LPが適切であると考えます。なお、協賛を募ってLPを作成する手法は、協賛準備期間が必要になるため、年初からの推進計画に用いるLPの作成手法としては難しいのではないかと考えます。
- 意見7: 物販体験ブース出店での費用が予算に入っていないですがどこから15万円をだしますか。
- 対応7: 物販体験に関しては子議案作成予定です。LOM費用もしくはえれこっちゃ費用で調整させていただく予定です。
- 意見8: LPを作成するとしても、広報が重要となります。現在の予算配分では広告費の比重が軽いと思われるので、LPの予算を広告費に振り分けることができないか、検討してみてください。
- 対応8: 検討した結果、LPの予算を縮小し、その分を広告費に回すこととしました。

- 第01回財政規則審査会議 ● 開催日 2022年 12月 27日 (火曜日) 審査

- 意見1: なし
対応1: なし

- 第01回理事会 ● 開催日 2023年 01月 07日 (土曜日) 審議

- 意見1:
対応1:

● 議案上程スケジュール

事業計画・予算

事業報告・決算

回数	諸会議名	開催日時	議事	回数	諸会議名	開催日時	議事
第03回	予定者常任理事会	2022年10月11日	報告	第12回	常任理事会	2023年11月21日	協議
第03回	予定者理事会	2022年10月20日	報告	第12回	財政規則 審査会議	2023年00月00日	審査
第04回	予定者常任理事会	2022年10月27日	協議	第12回	監事会	2023年00月00日	審査
第04回	予定者理事会	2022年11月10日	協議	第12回	理事会	2023年12月5日	審議
第05回	予定者常任理事会	2022年11月24日	協議				
第04回	予定者財政規則 審査会議	2022年12月1日	審査				
第05回	予定者理事会	2022年12月8日	協議				
第01回	常任理事会	2023年12月19日	協議				
第01回	財政規則 審査会議	2022年12月27日	審査				
● 第01回	理事会	2023年1月7日	審議				